

政府の教育再生会議は 25 日、親に向けた子育て指針である『「親学（おやがく）」に関する緊急提言』の概要をまとめた。子どもを母乳で育てることを呼びかけたり、父親に P T A 参加を呼び掛けるなどの内容。政府の有識者会議が家庭生活のマニュアルを示し提言をすることには会議内にも慎重論があるだけに、世論の評価は分かれそうだ。

東京都内で同日開かれた主要メンバーによる運営委員会で示された。5 月の第 2 次報告の前に正式発表する見通し。

「親学」は、親も子育て学習をする必要がある、との認識から一部の保守系有識者が提唱している考え方。子育ての知恵や文化を伝えることが主眼で、再生会議では 17 日の同会議第 2 分科会（規範意識）で提言を行う運びとなった。山谷えり子首相補佐官や池田守男座長代理らが概要をまとめた。

概要では「脳科学では 5 歳くらいまでに幼児期の原型ができあがる。9 歳から 14 歳くらいに人間としての基礎ができる」と指摘するなど、11 項目にわたり具体論を展開。「子守歌を歌う」▽「授乳中はテレビをつけない」▽「早寝早起き朝ご飯」▽「親子で感動する機会を大切にしよう。テレビではなく、演劇など生身の芸術を鑑賞」▽「インターネットや携帯電話の情報に『フィルタリング』を」など、家庭生活のあり方をかなり具体的に記述。子どもの発達段階に応じ「幼児期段階であいさつなど基本の徳目、思春期前までに社会性を持つ徳目」を身につけさせるよう呼びかけた。

ただ同会議内にも、「政府が押し付けることか」（学識経験者）と政府版「家庭生活マニュアル」の作成を疑問視する意見が出ており、発表段階で内容に変更が加えられる可能性もある。母乳による育児推奨には「母乳の出ない母親を追い詰める」との専門家の指摘もある。

◇「親学」提言のポイント

- (1) 子守歌を聞かせ、母乳で育児
- (2) 授乳中はテレビをつけない。5 歳から子どもにテレビ、ビデオを長時間見せない
- (3) 早寝早起き朝ごはんの励行
- (4) P T A に父親も参加。子どもと対話し教科書にも目を通す
- (5) インターネットや携帯電話で有害サイトへの接続を制限する「フィルタリング」の実施
- (6) 企業は授乳休憩で母親を守る
- (7) 親子でテレビではなく演劇などの芸術を鑑賞
- (8) 乳幼児健診などに合わせて自治体が「親学」講座を実施
- (9) 遊び場確保に道路を一時開放
- (10) 幼児段階であいさつなど基本の徳目、思春期前までに社会性を持つ徳目を習得させる
- (11) 思春期からは自尊心が低下しないよう努める